



ブロックチェーン技術を利用した仮想通貨決済システムを備えた（搭載の）、フルサービス自動サプライチェーンプラットフォームサービス

概要

紹介ビデオ

国際貿易

実質金利、200か国以上への即時送金

フル機能およびサプライチェーンの自動化

モーフィアスネットワークハイブリッドセキュリティ&

チーム

なぜモーフィアスネットワークなのか?

モーフィアスネットワークプラットフォーム

モーフィアスネットワークスマートコントラクトインターフェース

プラットフォームのテスト/品質管理

誰がモーフィアスネットワークの恩恵を受けるのか（シナリオあり）

モーフィアストークンユーティリティ

エスクロー決済サービス

なぜイーサリアムなのか?

テクニカルデータ

アプリケーション

トークンシステム

金融デリバティブおよび安定通貨

トークンセール

概要

世界経済は迅速で効率的な世界中の輸入と輸出に依るところが大きい。しかしながら、世界中でサプライチェーン事業を展開していく上においては、さまざまな非効率的なことがあるのである。たとえば、海外に大量の花を出荷する際には、数多くの業者の200にも及ぶ書類が必要になる。花などの商品が、衛生的でかつ虫がついていないことを証明する書類は、数え切れないほどの代理店の押印と署名が必要になり、個々の書類はそれぞれ航空便で目的地まで送らなければならない。というのも、税関当局は詐欺を未然に防止するためにその書類の原本が必要なのである。書類に少しでも誤りがあると、遅延により積荷がダメになったり、支払いの延滞が発生したりするのである。同様に、輸出業者や輸入業者、保険会社、通関業者、ターミナル事業者、運送業者など複数の関係者は、船荷証券を使用している。通常、荷物が到着したという知らせを売り手が受け取った後、宅配業者が翌日に船荷証券を届けるのである。

モーフイアスネットワークを使えばこのプロセスをもっとシンプルにすることが可能である。書類を複数の機関（団体）で共有する必要があるときはいつでも、記録をブロックチェーンに置けば、リアルタイムの更新が可能になり、参照はできるが、改ざんもしくは不注意に変更されることはないのである。これにより、時間とコストの大幅な節約を実現すると同時に、高い信頼性が保証されるのである。

モーフイアスネットワークは、業界のベテランたちがグローバルなサプライチェーンにおける非効率性を改善するために設立したもので、世界の貿易業界向けに、ブロックチェーン技術を利用したフルサービスでグローバルであり、そして自動化されたサプライチェーンプラットフォームを実現しているのである。ブロックチェーンは、サプライチェーン全体で利用され、そこに自動化、最適化、セキュリティ、可視性、予測においてブレークスルーをもたらす技術なのである。

自動化は、スマートコントラクトを利用して実現されており、国際送金の自動化はもちろん、所定の作業契約、出荷および税関書類の自動化によりサプライチェーンに活気をもたらしている。スマートコントラクトの一部、すなわちその目的であるその他ブロックチェーン技術のレイヤリング（階層化）は、サプライチェーンのさらなる自動化を可能にするもう一つの重要な特徴である。階層化には、RFIDをスキャンして積荷の到着を知らせるウォルトンブロックチェーンの利用や、サプライチェーンのスマートコントラクトの一つの目的として、シアを利用してデータの転送を確認するなどの他のブロックチェーンとの統合が含まれている。

紹介ビデオ

www.youtube.comでビデオを視聴可能。

国際貿易

規模的な話をすれば、モーフイアネットワークは、業界を数十億ドルの出費から救う可能性がある。世界経済フォーラムの報告書「貿易を可能にする：成長の機会を見極める」によれば、世界のサプライチェーン内部の障壁を削減すれば、世界のGDPは約5%、貿易総額は約15%増加する可能性がある。これは、3兆（US）ドルに上る世界的な景気刺激（浮揚）策に相当（匹敵）するのである！

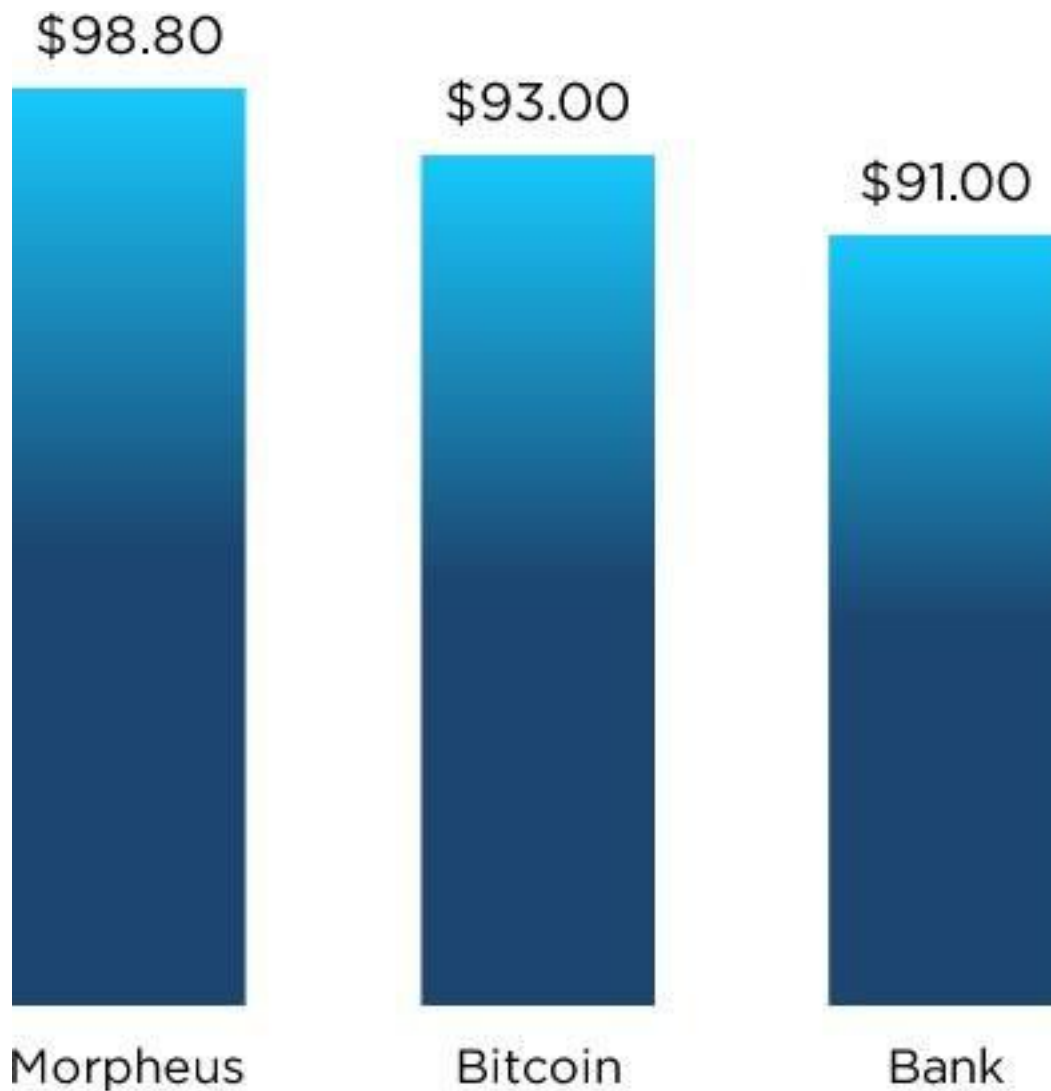
実質金利、200カ国以上への即時送金

モーフイアネットワークのおかげで、世界中のサプライヤー、メーカー、輸出業者は世界200カ国以上で現地通貨を受け取ることが可能である。反対に、購買輸入業者は、両替や銀行の手数料を払わずに、自国の通貨を他国に購買資金として送金することができるのである。これはSwiftとの統合により可能になり、（その結果）1600以上の銀行に直接資金を送金することができるのである。そのため、企業や個人はネットワークを使うことにより、取引の規模にかかわらず、スムーズに、簡単に、そして瞬時に、複雑な海外購入や国際発送を行うことができるのである。

モーフイアネットワークは、最新かつ最速のブロックチェーン技術を利用して、世界の160以上の銀行に多額（のお金）の送金ができるように設計された最初のプラットフォームであり、それは世界中の取引のためのスマートコントラクトの目的の一つである。これにより、輸入業者および輸出業者は、遅くて費用がかか

り、セキュリティ上問題のある、しかも時代遅れの従来の電信送金をつかわなくてもよいのである。

一例を挙げると、世界銀行によると、中国は現在、最も費用がかかる、主要な通貨の通り道となっており、英国から中国へ1000.00ドル（700.00ポンド）の送金する際の平均費用は、98.00ドル（68.60ポンド）、すなわち9.8%かかる。これに比べてモーフイアネットワークでかかる料金は僅か1.5%である。



Amount of money remaining per \$100 transactions.

*\$100の送金から手数料を差し引いた残額(translation above)

フル機能およびサプライチェーンの自動化

企業や個人にとって、複雑（わずらわしい）な国際輸送の物流管理は、モーフイアネットワークにより簡単になり、自動化されている。これを実現したのは、配送、関税、銀行業務、会計の専門家からなる有能なチームであり、彼らは各業界において深い知識と豊富な経験を持っているのである。その集大成が”フルサービス”の輸出入システムであり、これはグローバルで（世界中の）関税に関する法律および規則に準拠しているのである。また、発送に関する書類（の原本）および契約書をデジタル（コンピュータ）で自動作成することができ、これは今までなかったことであり、そのためのテンプレートが用意されている。

エスクロー決済もモーフイアネットワークの利点の一つであり、輸入者やバイヤーの信用を高めているのである。所定のスマートコントラクトに基づきエスクロー決済を使用すると、スマートコントラクトの目的が達成されていれば、輸出業者は資金を利用することが可能となる。自動的に荷主に資金が放出される前にスマートコントラクトにおけるすべての目的が達成されている必要があるため、売り主は安心できるのである。

モーフイアネットワークには、スマートコントラクトに必要な目的として含まれる他のブロックチェーンテクノロジーの”レイヤリング（階層化）”も組み込まれている。これらの目的には、スマートコントラクトに統合されておりかつ残りの自動化された目的を補ってくれるシア、ウォルトンRFIDエントリ、またはリップルトランザクションを使用した必要なデータの転送が含まれる可能性がある。

さらにモーフイアネットワークは、サプライチェーンを今以上に最適化するために人工知能（AI）を利用しており、そのために

ブロックチェーンの膨大な量の物流データを収集しているのである。これにより、必要に応じて、世界中の通行量、港の遅延、天候、さらにその他の多くの要因や情報源に基づいて事前にコンテナ積み出し港を計画、決定することができるのである。AIを使用することで、港への到着時間をより正確に見積もり、輸入用のコンプライアンス書類を準備することが可能であり、書類はモーフイアネットワークで作成することができるのである。

さらに、当社のユーザ評価システムにより、モーフイアネットワークのユーザは、信頼でき、かつ経験豊富なビジネスパートナーとの取引が保証されている。

モーフイアネットワークハイブリッドセキュリティ&チーム

モーフイアネットワークは、パーミッションドブロックチェーンを利用しており、それはパブリックブロックチェーンの'信頼性の低い'モデルと、プライベートブロックチェーンの'信頼性の高い'単一のエンティティ'モデル（の両方の側面を合わせ持っているものである）が混在しているものである。モーフイアネットワークのパーミッションドブロックチェーンは、単一の組織に権力を集中することなく（権限を分散することで）、ユーザのデータのプライバシーを維持しているのである。

ブロックチェーンへのアクセスを管理する目的で、信頼のおけるモーフイアネットワークコンソーシアムが設立されることにな

り、それがブロックチェーンを分散型方式で維持する役割を果たすことになるだろう。

ブロックチェーン上の文書レコードにアクセスできるのは、承認された参加者に限られる。すなわち、すべての参加者、もしくはデータの特定部分へのアクセスを必要とする参加者のみが許されるということである。文書の所有（者）やアクセスは、匿名でも可能だが、確認が必要なパートナー間では确实（きちんと）に識別することも可能である。一言で言えば、多くの人たちと共有でき、同時に保護することが可能であるということだ。

文書はオフラインのコンテナ（入れ物）に保存されていることで、モーフイアスネットワークスマートコントラクトはブロックチェーンの機能をフル活用することができる、その一方でプライベートデータは保護されている。これにより、プライバシーと透明性のバランスが適切に保たれているのである。ブロックチェーンの特徴の1つはデータの不変性である、すなわちひとたびデータがブロックチェーンに書き込まれると、たとえシステム管理者であっても、誰もそれを変更することはできないのである。これにより、すべての書類とトランザクションの安全な監査証跡を作成し、地方条例を确实に遵守することができるため、モーフイアスネットワークのユーザにとっては（大きなメリット）有益なことである。

創立メンバーの一人であるノアム・エツペル氏は、情報セキュリティの専門家であり、5年間に渡るセキュリティ会社の経営においても成功を収めている。トロントの大学でウェブセキュリティを教え、また北米中の企業が利用しているオンラインのセキュリティコースも作成している。また、IBMをはじめとする有数のテ

テクノロジー企業でセキュリティ・コンサルティング・サービスを提供している。

さらに、プレセールやトークンセール中に調達した資金を確保するために、すべての資金をイーサリアムに交換し、マルチシグネチャウォレットに保管するのである。マルチシグネチャウォレットとは、資金のリリースまたは送金の際に複数の人間の承認が必要となる技術である。マルチシグネチャウォレットの（秘密）鍵は、モーフイアスネットワークチームの創業者だけでなく、さらにデロイト社、トロント・ドミニオン銀行、および、Toronto

General & Western Hospital Foundationなどの企業の諮問委員会のメンバーが保持することになるのである。

最後に、私たちのチームは、機能的な観点から見てみると、ブロックチェーン、国際貿易、国際関税規則、会計コンプライアンス、決済処理プラットフォーム、法律、情報セキュリティ、ウェブサイトおよびDApp（分散型アプリケーション）開発などの各分野の専門家により構成されている。チームの優れた人材と協力者たちの招聘先は以下の通りである：

- デロイト社
- トロント・ドミニオン銀行
- ウイルソンインターナショナル社
- クリーンフォレストソリューション社
- アトラスカーゴ
- Smart Cube社
- Winjit社
- McLeod Law社
- Toronto General and Western Hospital Foundation

モーフィアスチームとアドバイザーを確認するには、[ここ](#)をクリック

なぜモーフィアスネットワークなのか？

TenX、Monaco、Paypal、Alipay、Wechatなどの他のブロックチェーンまたは非ブロックチェーンを基盤としたサービスは、輸出入業界に関連する国際送金に関して言えば、セキュリティと機能がそれぞれ違っている。製造または作業（請負）契約や出荷フォーム（商業送り状、梱包リスト、保険証書、船荷証券など）などの原本を作成してブロックチェーン上に保管することは、ブロックチェーン技術を用いて書かれているかどうかに関係なく、ネットワークにとって重要な特徴の一つであり、小売りや決済処理の一部ではないのである。サプライチェーンの自動化、スマートコントラクトのエスクロー決済、他のブロックチェーン技術の統合、出荷書類の自動作成、輸入/輸出のチュートリアル（説明）サービスなど、モーフィアスネットワークの多くの主要な機能についても同様である。

モーフィアスネットワークは従来の国際取引と最新のブロックチェーン技術を結びつけているのである！

エスクローサービス								
スマートコントラクト オートメーション								
文書のデジタル化								
配送サービス								
他のブロックチェーン技術 のレイヤリング（階層 化）								
必須評価システム								

SWIFT（による）口座振込								
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--

モーフィアスネットワークは、シンプルで使い勝手の良いダッシュボードを備えている。ネットワークを使用してサプライチェーンにおけるスマートコントラクトの目的を改訂したり追加したりする際は、直観的に簡単に行うことができる。

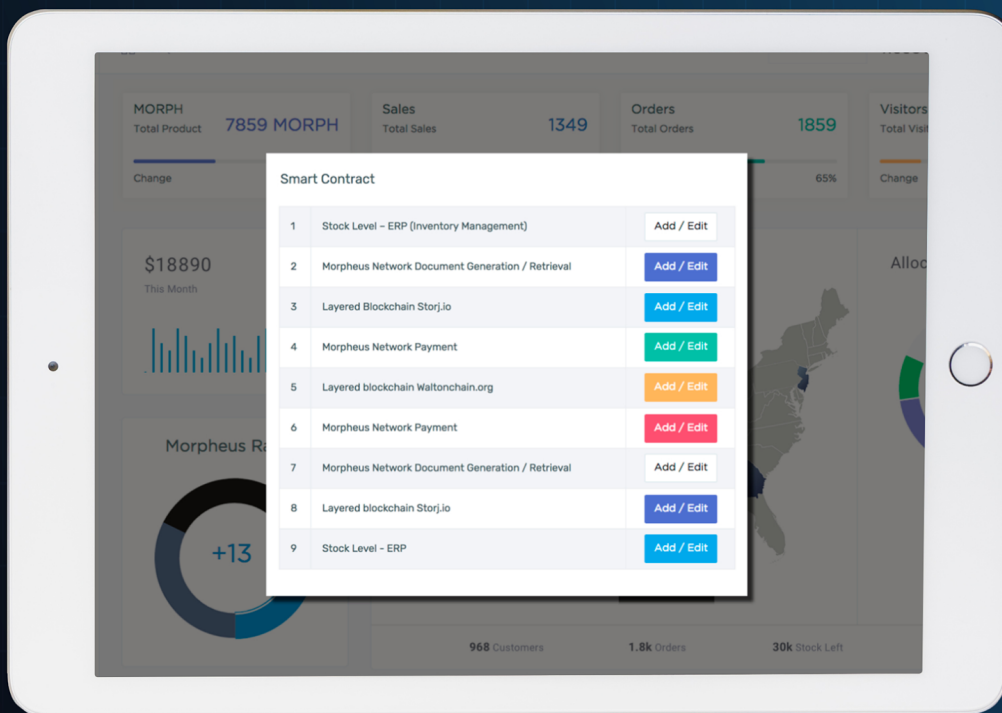
取引における資金と書類作成の流れを簡単に確認でき、またエスクロー決済サービスや文書のデジタル化などのモーフィアスネットワーク機能を利用することができる。

また、アクセス権を設定することができ、どの書類またはスマートコントラクトの目的をパブリックにするのか、しないのか、また運送業者、通関業者、貨物運送業者と共有するのをどれにするのかを設定することができるのである。

モーフィアスネットワークスマートコントラクトインタフェース

MORPHEUS.NETWORK - SMART CONTRACTS

Single Smart Contract for a Supply Chain



プラットフォームのテスト/品質管理:

テストとメンテナンスはあるにせよ、最高水準の品質が保証されているのだ。トロント・ドミニオン銀行のアドバイザーである

Donna Stoppardの尽力により、プラットフォームのテストはカナダ国立銀行と同レベルなのである。

- SIT=システムインテグレーションテスト - 通常は最初に行われるテストで、通常より”低いレベル”の環境で実施する。ブロックチェーンのコードとモファイアネットワークプラットフォームを統合し、ユーザーフレンドリーなインターフェイスが作成されることを確認する。このテスト段階では、プラットフォームは稼動していないが、構築されたテクノロジー（コード、ロジックなど）が期待どおりに機能しているか確認する。

- BAT=ビジネス受け入れテスト - SITの完了後に実施され、SIT中に見つかったすべての不具合は修正される。BATは実際の業務で使えるかどうかのテストである。SITは技術的な部分を（裏で動くロジック等）テストし、BATは実際の業務に関連する仕様部分をテストするのである（たとえば、必須フィールドにアスタリスクがついているかのチェック、必須フィールドが空白の場合は適切なエラーメッセージが表示されるかどうかのチェック）。BATも通常より”低いレベル”の環境で実施される。

- PCOE=パフォーマンステスト - 本番環境で実施する。PCOEは、モファイアネットワークのパフォーマンスのテストである。シス

テムクラッシュの原因は何か？ ネットワークの速度低下の原因は何か？ PCOEのテスト段階では、各要因を考慮する必要がある。

•PAT=本番受け入れテスト - これはテストの最終段階であり、本番環境で実施されるが、ネットワークはまだアクティブになってはいない。コード（プログラム）を本番環境に適用する際に不具合がないか、またすべてのテストケースでパフォーマンスと結果が想定通りかどうかを確認するためのテストである。PATテストが完了後に、モーフィアスネットワークがアクティブになるのである！

誰がモーフィアスネットワークの恩恵を受けるのか（シナリオあり）

世界中の輸出入業者がモーフィアスネットワークの恩恵を受けている。

シナリオ #1 - シンプルなサプライチェーンの構造 - "エクアドルの花屋"

ジョーの家族はエクアドルにいる。4世代にわたって、彼の家族は世界で最も美しいヘリコニアの花を育ててきた。ジョーはフランスに移住してから、自分の花屋”エクアドルの花屋”を開いた。ヘリコニアの花は彼の店のベストセラー（一番人気）だったが、在庫しておくことが難しいのである。出荷や通関手続きのための簡単な書類の作成で何度も遅延が発生し、太陽の光と熱をたっぷり必要とするヘリコニアにとっては致命的なことである。

ジョーのサプライチェーンの構造は次のとおりである。

エクアドルからフランスに出荷される花

構造に関わる決済:

フランスからエクアドルに戻る（ユーロからドル）

モーフイアネットワークはスマートコントラクトシステムを採用することで、ビジネスニーズを逃さない。パリへのヘリコニアの出荷は、シンプルで自動化されており、出荷と通関のための書類の自動作成と、ヘリコニアの生産のための現地への支払いが可能だ。モーフイアネットワークは、自動化されたスマートコントラクト技術を採用することで（遅延をなくしてしまうのである）彼が経験した遅延は、すでに過去の出来事になってしまった。

シナリオ2 - 平均的なサプライチェーンの構造 - "アナのTシャツ"

アンナはモスクワ在住で、ロシア語でよく使われるフレーズがスペイン語で書かれているTシャツを作る会社を立ち上げた。ヒットしたが、Tシャツを供給し続けることができなかった。オンラインストアはスペイン、アルゼンチン、アメリカで大成功を収めた。Tシャツをモスクワに運ぶ物流が悩みのタネだった。

物流に関する問題点は次のとおりである：

- ・ サプライヤーへの電信送金による決済の遅れ
- ・ 出荷書類の転送に時間がかかり出荷の遅延が発生
- ・ 不備のある書類の提出
- ・ 銀行振込の高額な手数料、費用が増える
- ・ ひどい交換レート、毎回の国際送金でコストが増える
- ・ 現行の評価システムがない（販売代理店からの支払いの遅延、サプライヤーの遅延）

サプライチェーンの構造は次のとおりです：

台湾からロシアに出荷されるTシャツ

デザイン（図柄）は自由にオーダーすることができ、モスクワで印刷され、世界中の販売代理店によって販売されている。完成したTシャツは、ロシアから以下の場所に出荷される：

アルゼンチン

スペイン

アメリカ合衆国

構造に関連している決済:

台湾の人向け

サプライヤー (ルーブルから台湾ドル)

アルゼンチンの代理店 (アルゼンチンペソからルーブル)

スペインのディストリビューターから (ユーロからルーブル)

アメリカのディストリビューターから (ドルからルーブル)

モーフイアスネットワークは、サプライチェーン全体の構造を自動化する。これには以下が含まれる:

- 在庫が不足しているときに台湾のサプライヤー向けの新しい契約を作成する
- スマートコントラクトの目的は交換率*0%で、追加の電信送金手数料はかからないため、台湾のサプライヤーへの支払いは、台湾ドルで自動的に銀行口座に直接行われる。

- すべての出荷書類の原本の作成、デジタル化、および共有はアクセス権を持っている通関業者と貨物運送業者によりシームレスに処理される。

モーフィアスネットワークは、アンナの世界的なTシャツ帝国を自動化し、ビジネスに必要な経費を節約する。ビクトリア！

*（交換レートは0%、モーフィアス取引手数料は1.5%）

シナリオ #3 - 複雑なサプライチェーンの構造 - ”メープルエコフレンドリーカーカンパニー”

オンタリオ州サーニアを拠点とするメープルエコフレンドリーカーカンパニーを紹介する。世界中の最高の部品サプライヤーを使い、環境に優しい自動車を生産している。また、世界中に販売拠点を持っており、そこで彼らの作る車とSUVを販売しているのである。彼らのビジネス構造における物流管理は非常に複雑であり、時間がかかる。以下はメープルリーフエコフレンドリーカーカンパニーが解決しようとしている（取り組んでいる）課題（障害）である：

- 電信送金決済に時間がかかり製造に遅延が生じている
- 出荷書類の原本の送信に時間がかかり出荷の遅延が生じている

- 不備のある書類の提出、積荷を受け取った国によっては、罰金と遅延が発生している
- 銀行振り込みの高額な手数料、費用の増大
- ひどい交換レートは毎回の国際送金の費用を増加させている
- 評価システムがないためにサプライヤーによる製造遅延が発生している

モーフイアスネットワークは、現在の世界中の取引システムに付随するこのような問題をすべて解決するであろう。

サプライチェーンの構造は次のとおりである：

最初にカナダに出荷され、次に中国に出荷される部品の調達元は以下である：

ミンスク、ベラルーシ

バンクーバー、カナダ

ライプツイヒ、ドイツ

組み立てのために中国に直接出荷される部品の調達元は以下である：

南京、中国

ナシク、インド

ストックホルム、スウェーデン

デトロイト、アメリカ

環境に優しい車は世界中の販売代理店によって販売されている。
組み立てが終わった機器は、中国から以下に直接出荷されている：

メルボルン、オーストラリア

サンパウロ、ブラジル

オスロ、ノルウェー

リヤド、サウジアラビア

ヨハネスブルグ、南アフリカ

バルセロナ、スペイン

ロサンゼルス、アメリカ

構造に関連している決済：

ベラルーシのサプライヤーへ（カナダドルからベラルーシルーブル）

スウェーデンのサプライヤーへ（カナダドルからクロナ）

ドイツのサプライヤーへ（カナダドルからユーロ）

インドのサプライヤーへ（カナダドルからルビー）

米国のサプライヤーへ（カナダドルからドル）

中国サプライヤー&組み立て工場へ（カナダドルから中国元）

オーストラリアの販売代理店から（オーストラリアドルからカナダドル）

ブラジルの販売代理店から（リアルからカナダドル）

ノルウェーの販売代理店から（クローネからカナダドル）

サウジアラビアの販売代理店から（リヤルからカナダドル）

南アフリカの販売代理店から（ランドからカナダドル）

スペインの販売代理店から（ユーロからカナダドル）

アメリカの販売代理店から（ドルからカナダドル）

12種類以上の出荷、および12種類以上の通貨換算決済がある場合（様々な出荷および税関のルールおよび規則がある）、各配送および決済のためのすべての書類と規則を理解するには何百時間のマ

ンパワー（労力）が必要になるのである。私たちのネットワークは、スマートコントラクトの力を利用しプロセス全体を簡素化し、自動化するのである！

システムの構成要素は以下のものである：

サプライヤー

販売代理店

組み立てチーム

通関業者 & 運送業者

すべての必要なアクションは、あらかじめ決めておいたスマートコントラクトのおかげで自動化されるのである。1つの目的が達成されると、スマートコントラクトの次の目的が対象となり、それがずっと続いていくのである。

出荷と税関の設定 - 自動化。

製造契約と資金調達 - 自動化。

販売代理店のオーダーと1600以上の銀行への支払い - 自動化

モーフィアスネットワークは、スマートコントラクトとイーサリアムブロックチェーンを利用し、世界中の取引におけるすべての出荷と通貨換算と決済を安全に行い、ユーザのお金と時間を節約するのである！

モーフィアストークンユーティリティ

"MORPH"トークンはモーフィアスネットワークの原動力である。トークンは、"値"ベースのユーティリティである。ネットワークのMicrosoft Dynamics 365 ERPシステムは、SWIFTと統合されており、直接国際送金が可能である。

モーフィアストークンは、仮想通貨もしくは74種類以上の暗号化通貨を直接プラットフォームおよびShapeshiftを使用して変換して入手することが可能である。トークンがあればモーフィアスネットワークへアクセスすることができるのである。あらゆるグローバルサプライチェーンのスマートコントラクトにおける重要な目的は、国際送金である。モーフィアストークンの価値は、スマートコントラクトの目的として支払いを完了するために必要な通貨の、リアルタイムで変動する金融派生物によって決まるのである。Swiftとの統合により、スマートコントラクトで必要とされる特定の通貨（不換通貨または暗号化通貨）で1600以上の銀行の口座に直接送金することが可能である。

エスクロー決済サービス

出荷書類と積み込み確認書またはその他の特定のスマートコントラクトの目的がアップロードされ契約が完了するまで、支払いは

モーフイアスネットワークに保持されている。このような機能により、新しいサプライヤーから購入する際や、契約締結前に資金が確保されていることが分かっているサプライヤーにとっても、セキュリティのレベルが向上しているのである。Swiftを使って、現地通貨で世界中の1600以上の銀行に直接資金を送金するこのような決済は、スマートコントラクトによって自動化されるであろう。

なぜイーサリアムなのか？

イーサリアムは、スマートコントラクトを実行できるオープンソースでパブリックなブロックチェーンベースの分散型チューリング完全（計算完備）の計算プラットフォームである。スマートコントラクトは、ダウンタイム、検閲、詐欺または第三者による干渉の可能性のない、プログラム通りに実行されるアプリケーションである。イーサリアムはまた、"イーサー"という暗号化トークンを提供しており、それはアカウント間での転送が可能で、また計算のための参加ノードを補うために使用することも可能である。

イーサリアムは、高度にグラム可能なデジタルマネーということができる。一定の条件が満たされた場合にのみ、ある人から別の人に自動送金される場合のことを考えてみよう。たとえば、ある個人が別の人から家を購入したいとする。従来は、弁護士およびエスクローエージェント等、取引に関与する複数の第三者が存在するため、処理に余計な時間と費用がかかる。イーサリアムを使用することで、契約に同意後、代理人である第三者に頼む必要もなく、家の所有権を購入者に、資金を売り手に自動的に転送することができるのである。

現在使用されている、速度が遅く安全性が確保されていない中央集中型システムの多くは、イーサリアムプラットフォーム上で分散型の手法を用いて構築することが可能である。単一障害点や検閲を排除することができるということが分散化の重要な点なのである。分散型プラットフォームは中間業者を省き、最終的にユーザのコストに削減にもつながるのである。

イーサリアムとビットコインのような他のブロックチェーンとの違いは何か？ イーサリアムには多くの利点がある：

- イーサリアムでは、ブロック時間はビットコインの10分に比べて14～15秒に設定されている。これにより、トランザクション時間がより高速になる。イーサリアムはGhostプロトコルを使用してこれを行っている。
- イーサリアムは、ビットコインとは若干違い実用的なモデルである-ビットコインのブロック報酬が4年ごとに半減する一方、イーサリアムは毎年同量のイーサーを無限にリリースしている。
- イーサリアムは、計算の複雑さ、使用帯域幅、およびストレージの必要性に応じて、異なったトランザクションの原価計算方法を用いている。ビットコインのトランザクションは、互いに等しく競合する。これはイーサリアムのガスと呼ばれ、ブロックごとに制限されているが、ビットコインではブロックサイズによって制限されている。

- イーサリアムには独自のチューリング完全の内部コードがある。チューリング完全コードとは、十分な計算能力と十分な時間が与えられれば何でも計算できることを意味している。ビットコインにはこのような柔軟性がないのである。
- ビットコインリリース後、初期のマイナーが発掘したコインの大部分を所有している一方、イーサリアムはクラウドファンディングをおこなっていたのである。イーサリアムでは、5年間でコインの50%をマイナーが所有することになるであろう。
- イーサリアムは、ステイルブロックを報酬とするGhostプロトコルを使ってプールマイニングを抑制している。ブロックプロパゲーションの観点からすると、プールにいることにメリットはないのである。
- イーサリアムは、Ethashと呼ばれるメモリハッシュアルゴリズムを使用し、ASICの使用を抑制し、GPUを使用した個人による分散型マイニングを促進している。

モーフイアネットワークでは、明らかにイーサリアムベースのERC20トークンを使用していた。どのイーサリアムウォレット（マイイーサウォレット、レジヤーナノユニットなど）も、モーフイアネットワークのトークンを受け取り保存することが可能である。

テクニカルデータ

イーサリアムブロックチェーンは多くの点でビットコインブロックチェーンに類似しているが、そこにはいくつかの違いがある。ブロックチェーンのアーキテクチャに関するイーサリアムとビットコインの主な相違点は、イーサリアムブロックにはトランザクションリストと最新の状態の両方のコピーが含まれており、これはビットコインとは異なる点である。それ以外に、ブロック番号と難易度の2つの値もブロックに格納されている。イーサリアムの基本ブロック検証アルゴリズムは次のとおりである：

- 先に参照されたブロックが存在しているか、また有効であるかどうかを確認する。
- ブロックのタイムスタンプが、先に参照されたブロックのタイムスタンプよりも大きく、15分以内であることを確認する。
- ブロック番号、難易度、トランザクションルート、アンクルルート、ガスリミット（さまざまなイーサリアム固有の低水準概念）が有効であることを確認する。
- ブロックのプルーフオブワークが有効であることを確認する。
- 前のブロックの終端部分の状態を $S[0]$ とする。
- TXをブロックのトランザクションリストとし、そこには n 個のトランザクションがある。0から $n-1$ までのすべての i について、 $S[i+1] = \text{APPLY}(S[i], \text{TX}[i])$ を設定する。いずれかのアプリケーションがエラーを返した場合、または今までに消費されたガスの合計がGASLIMITを超える場合は、エラーを返す。
- S_FINAL を $S[n]$ とするが、マイナーに支払ったブロック報酬を加える。

- 状態がS_FINALのマークルツリールートがブロックヘッダーの最終状態のルートと等しいかどうかを確認する。そうであれば、ブロックは有効である。それ以外の場合は無効である。

このアプローチは、状態を完全に各ブロックと一緒に格納する必要があるため、一見すると非常に非効率的に見えるが、実際のところ、効率性はビットコインと変わらないはずだ。その理由として、状態はツリー構造の中に格納され、ブロックごとに変更する必要があるのはツリーのごく一部のみであるからである。従って、一般的には、2つの隣接するブロック間で、ツリーの大部分は同じであるべきであり、そのためデータを1回格納すると、ポインタ（すなわち、サブツリーのハッシュ）を使用して2回参照することが可能なのである。これを実現するためにパトリシアツリー"と呼ばれる特別な種類のツリーが使用されている、そこにはマークルツリーのコンセプトの変更も含まれており、これによってノードの変更だけでなく挿入、削除を効率的に行うことができるのである。さらに、すべての状態情報は最後のブロックの一部にあるため、ブロックチェーンの履歴全体を格納する必要はないのである- これをビットコインに適用すると、その結果5~20倍の領域節約を実現することができるのである。

よくある質問は、物理ハードウェアの観点から見た場合、コントラクトコードがどこで実行されるかということである。答えは簡単だ: コントラクトコード実行プロセスは、状態遷移関数の定義の一部であり、ブロック検証アルゴリズムの一部である。したがって、トランザクションがブロックBの中に追加されると、それを

きっかけに、現在も今後もすべてのノードでコードが実行されブロックBをダウンロードして検証するのである。

アプリケーション

一般的にイーサリアム上には、3種類のアプリケーションがある。1つ目のカテゴリーは金融アプリケーションで、ユーザーへ彼らのもつ資金を活用した、よりパワフルな契約およびその管理方法を提供する。これは準通貨、金融デリバティブ、ヘッジ契約、ウォレット、遺書そして究極的にはフルスケールの雇用契約書も対象となる。2つ目のカテゴリーは準金融アプリケーションで、そこには金銭が関わる一方で、実行される事項については、非金銭的側面も多く存在する。例えば、完璧な例としては自力執行権を持つコンピューターの問題解決に対して支払われる報酬が挙げられる。最後に、オンライン投票と非中央集権型の政治のようなアプリケーションであり、全く金融とは関わりがない。

トークンシステム

ブロックチェーン上のトークンシステムは幅広いアプリケーションを持つ。その範囲は、米ドル、金、株式のような資産に代表される準通貨から、スマートプロパティを代表する個人トークン、偽造防止証書、そして従来の価値と結びつきがなく、非中央集権化における点数制度に利用されているトークンシステムにまで及ぶ。トークンシステムはイーサリアムでは驚くほど容易に実施

できる。理解の鍵となるのは、通貨やトークンシステムは1つのオペレーションを持ったデータベースに過ぎない、ということだ。つまり、AからX単位を差し引き、BにX単位を加える、ということを実行する条件に基づき行うというものだ。(i) Aは少なくともX単位をトランザクション前に保有している。(ii) トランザクションはAに承認される。トークンシステムを実行するには、契約にこのロジックを実装するだけでいい。

基本的なSerpentにおけるトークンシステムの実施コードは以下のとおり。

```
def send(to, value):
```

```
    if self.storage[msg.sender] >= value:
```

```
        self.storage[msg.sender] = self.storage[msg.sender] - value
```

```
        self.storage[to] = self.storage[to] + value
```

これは本来“金融システム”状態遷移機能（詳細は本文書内にて記述）の文字列実行である。最初の場所といくつかのエッジケースにおける、通貨単位の配布という最初のステップのためには、さらに数行の追加のコードが必要である。理想的には、他の契約がアドレスの残高を確認できるような機能も付加される。しかし、これが全てなのだ。理論的には、準通貨のように振る舞うイーサリアムベースのトークンシステムは他の重要な特徴を持つ可能性がある。それは、チェーン上でのビットコインベースのメタ通貨不足、つまり、トランザクション手数料を直接その通貨で支払うことができる、という機能である。

これが実行される手順は次のとおりだ。契約がイーサリアム残高を維持し、そのイーサリアム残高により送金者への手数料支払い

に使われたイーサリアムの返金が行われる。そして、内部通貨単位を集めることで、イーサリアムの残高を元に戻すのだ。その後、手数料を取り、常時行われているオークションで再販売される。従って、ユーザーはアカウントをイーサリアムでアクティベートする必要があるが、一度イーサリアムを保有すれば再利用が可能になる。なぜなら、契約は毎回返金を行うからだ。

金融デリバティブと安定通貨

金融デリバティブは最も一般的なスマートコントラクトのアプリケーションであり、コード上での実行が最もシンプルなものの一つである。金融契約を実行する上での主な課題は、それらの大部分は外部の価格ティッカーを参照する必要がある、ということだ。例えば、最も望まれるアプリケーションはイーサリアム（もしくは他の通貨）の米ドルに対するボラリティをヘッジするスマートコントラクトであるが、このことは、その契約がETH / USDのレートを把握している必要がある。これを実行するのに最も単純な方法は、特定の団体（例えばNASDAQ）が維持し、必要に応じて更新することができ、他の契約がこの契約にメッセージを送信できるようなインターフェースを提供し、そして、価格を返すようにデザインされたデータ供給契約を通じたものだ。

これらの主要な構成要素を踏まえると、ヘッジ契約は次のようになる。

- Aが 1000 ETHを入力するのを待つ
- Bが 1000 ETHを入力するのを待つ

- データフィード契約に問い合わせで計算された1000ETHの米ドル換算価値をストレージに記録する。つまり、これが\$ x となる。

- 30日後、AかBが契約をリアクティブに、\$ x 相当のイーサリアム(新しい価格を取得するために、データフィード契約に問い合わせで計算)をAへ、残りをBへ送金することを許可する。

このような契約は仮想商流において重大なポテンシャルを持っている。仮想通貨に関する前述の最も重大な問題の1つは、価格変動が大きいことである。多くのユーザーや購入者は暗号化された資産の取引セキュリティと利便性を望むかもしれない一方で、1日で基金の23%を失うということを望まないだろう。現時点までに最も一般的な解決策は発行者が裏付ける資産である。そのアイデアとは、発行者は発行や廃止を行うことができる準通貨を創造し、誰にでも、設定された額の資産(例えば金、米ドル)と引き換えに、1単位の通貨を提供する。そして発行者は、1単位の仮想資産を返却した者には誰にでも、1単位の資産を返却することを約束する、というものだ。この仕組みは、発行者が信用できる限りは、どのような非暗号化資産であれ、暗号化資産に組み込まれることを可能にする。

しかしながら実際には、発行者がいつも信用に足るとは限らず、いくつかの事例では、銀行インフラが脆弱すぎるもしくは、適切ではなく、このようなサービスが存在することはできない。金融デリバティブはその代替となるのだ。ここでは、基金のバックアップを提供する単一の発行者の代わりに、非中央集権化された、暗号化された資産(例えばイーサリアム)の価格が上昇することにかけている投資家の市場がその役割を果たすのだ。発行者と違い、投資家は彼らの取引上の立場からすればデフォルトは選択肢にない。なぜならヘッジ契約はエスクローに彼らの資金を抑えているからだ。留意すべきは、このアプローチは完全には非中央集権化されていない、という点だ。なぜなら、信用できるリ

ソースが価格テッカーを提供するのに必要だからだ。議論すべき点は多いものの、それでもなお、これは、インフラへの要求事項（発行者と違い、価格フィードの発行には何のライセンスも必要ないし、自由に発信できるものとして分類される）を減らすという意味で大きな改善なのであり、詐欺の可能性を減らすものである。

トークンセール

トークンセールとは、革新的な企業が資金を調達するのを支援する新しい方法である。トークンセールの間、企業はコインもしくはトークンを発行し、それらは企業のシステムへのアクセス権やライセンスを表すものとなる。つまり、企業のシステムのプロダクトを売る権利、その企業における資本持分、または単純に企業のシステムや成果品を利用する権利である。これは、世界中の誰もが、富や地位に関わらず、一定の権利を得ることができるという強力なシフトなのだ。トークンセールにより誰でも資産を構築し、支援する企業のオーナーとなることができる。

私たちは現在Brian Taylor (Deloitte LLP) とモーフィアスネットワークトークンセールについて、トークンと資本分配を含む仕様を最終化するための協議を行なっている。

トークンのプレセールは2018年2月6日に開始される。

注：上記に含まれる情報は、金融上またセキュリティ・投資のアドバイスとはなるものではない。上記のリターンは説明することをだけを目的とし、モーフィアスネットワークに関連するコインもしくはトークンオフリングのいかなる潜在的なリターンをも

反映するものではない。トークンセールでのリターンは保証されていない。

透明性-モーフiasネットワークおよびイーサリアムブロックチェーン

プレセール、トークンセールの間に集められた資金 (ETH, ETC, BTC, LTC, その他) は全てイーサリアムに変換され、安全なマルチシグウォレットに保存される。モーフiasネットワークの役員のうち数人と Deloitte LLP, TD Canada Trust and the Toronto General & Western Hospital Foundation のアドバイザリーボードメンバーがマルチシグウォレットの鍵を保管する。投資家向けのオンライン台帳も作られる予定だ。それにより、クラウドセールで出資された全ての資金が完全な透明性を持ってどのように活用されるかが投資家へ開示される。

イーサリアム ERC20 トークン

下記のような鍵となる要因があったため、イーサリアムベースの ERC20 トークンをモーフiasネットワークに利用するという選択は自明のものであった:

あらゆるイーサリアムウォレットはモーフiasトークン (Myetherwallet, Ledger Nano Units など) を受け入れることができる。

ERC20トークンは信頼性の高いイーサリアムプラットフォームにより新たに確立されたブロックチェーンネットワークにおいて、セキュリティと予測可能性を強化する。

イーサリアムは私たちのスマートコントラクト サービスに対して完璧である。

モーフiasネットワークを利用したスマートコントラクト

金融デリバティブは最も一般的なスマートコントラクトのアプリケーションであり、コード上での実行が最もシンプルなものの一つである。金融契約を実行する上での主な課題は、それらの大部分は外部の価格ティッカーを参照する必要があるということだ。例えば、最も望まれるアプリケーションはイーサリアム（もしくは他の通貨）の米ドルに対するボラリティをヘッジするスマートコントラクトであるが、その契約が、ETH / USDのレートを把握している必要がある。これを実行するのに最も単純な方法は、特定の団体（例えばNASDAQ）が維持し、必要に応じて更新することができ、他の契約がこの契約にメッセージを送信できるようなインターフェースを提供し、そして、価格を返すようにデザインされたデータ供給契約を通じたものだ。

スマートコントラクト は次のとおり:

Aが 1000 ETHを入力するのを待つ

Bが 1000 ETHを入力するのを待つ

データフィード契約に問い合わせで計算された1000ETHの米ドル換算価値をストレージに記録する。つまり、これが\$ x となる。

30日後、AかBが契約をリアクティベートし、\$ x 相当のイーサリアム（新しい価格を取得するために、データフィード契約に問い合わせで計算）をAへ、残りをBへ送金することを許可する。

もちろん、より大きなサプライチェーンのスマートコントラクトでは、決済は1つの重要な目的に過ぎない。スマートコントラクト技術は、企業のサプライチェーン内のステップを自動化し、効率を最大化するのだ。自動化される目的には、契約生成（および保管と"許可"された共有）、出荷と税関の文書生成（および保管と"許可"された共有）、実際のレートでの自動両替、国際決済だけでなく、他の技術（トラッキングシステム、ERPシステム、バーコードスキャン）におけるレイヤー化を含んでおり、それにより事実上すべてのサプライチェーンを自動化するのだ！

イーサリアムトークンシステム

トークンシステム - ブロックチェーン上のトークンシステムは幅広いアプリケーションを持つ。その範囲は、米ドル、金、株式のような資産に代表される準通貨から、スマートプロパティを代表する個人トークン、偽造防止証書、そして従来の価値と結びつきがなく、非中央集権化における点数制度に利用されているトークンシステムにまで及ぶ。トークンシステムはイーサリアムでは驚くほど容易に実施できる。理解の鍵となるのは、通貨やトークンシステムは1つのオペレーションを持ったデータベースに過ぎないということだ。つまり、Aから X 単位を差し引き、Bに X 単位を加える、ということを実際の条件に基づき行うというものだ。(i) Aは少なくとも X 単位をトランザクション前に保有して

いる。(ii) トランザクションはAに承認される。トークンシステムを実行するには、契約にこのロジックを実装するだけでいい。

モーフィアスのトークンは、価値を保持した国際送金に利用できる。トークンはスマートコントラクトの目的が完了した後の製造/作業契約の支払いを組み込んだ、複雑で自動化された輸出入システムの一部として使用することができる。

ロードマップ

[ロードマップページを見る](#)

モーフィアス プロジェクト定款

プロジェクト定款はスコープ、目的、行われるべき作業に対する全体のアプローチを定義し、プロジェクトを立ち上げ、計画、実行、管理、評価するために重要な要素である。プロジェクト定款はプロジェクトゴール、目的、スコープ、組織、見積もり、実施計画、予算に関する唯一の基準となる。それに加え、プロジェクトチームとプロジェクトスポンサーとの間の契約としても用いられる。つまり、予算により何が成果として成し遂げられるのか、時間制限、リスク、リソース、そしてプロジェクトへの基本的な合意などである。

プロジェクトアプローチ

プロジェクト管理には、敏捷なアプローチが活用される。これにより、高いレベルでの可視性と開発工程のあらゆるステージでの理解が提供される。

プロジェクト全体を通じて、私たちは全てのステークホルダーと緊密に連携しながら業務を進め、サービスがプロジェクト計画とタイムラインにあわせて実行されることを保証する。最新の状況は定期的に報告される。

品質

製作過程において品質を保証するためにどのようなステップを踏むか？

内部テスト

テストチームはテストプランを元に作業しているか？

テストプランは活用される。

プロジェクトがスコープから外れているかどうかを特定するために何を基準とするか？

スコープの測定メカニズムはプロジェクト内容の変更要請である。スケジュールと予算はプロジェクトに対して、変更が与える影響度を表す。

プロジェクトが予算内に収まっているかどうかを確認するために何を基準とするか？

予算の測定メカニズムはターゲットコストと予想されるコストの差である。

プロジェクトが期間内に実施されているかどうかを確認するためには、何を基準とするか？

スケジュールが予定通り進んでいるかどうかの物差しは目標日程と予定される日程の差である。

プロジェクトの制限要因

予算

リソース

プロジェクトの成功を判断する基準

(Yes / No) 選択式

- プロジェクトの要求事項が満たされた。
- プロジェクトは期間内に完了した。
- プロジェクトは予算内で行われた。
- プロジェクトはスコープの中で行われた。

モーフィアスビジネスケース完了チェックリスト

ほとんどの組織では、事業ごとの書類に様式があるが、その目的はプロポーザルの比較を容易にする事であり、事業で得られた情報を標準化するという点に焦点を当てている。このチェックリストはすべての要素が検討されていることを保証するために、事業を完了するためのさまざまなモーフiasネットワーク部門のツールとなるように意図されている。

これらのすべてがプロジェクトのあらゆる側面に必ずしも適用されるわけではないが、すべての事業担当者は少なくともこれらの各要素を検討し、必要に応じて事業計画に関する情報を提供する必要がある。注意すべきは、これらの項目のすべてが事業での文書処理において必要なわけではないということだ。詳細な情報もしくはソリューションが利用できない場合でも、計画のアウトラインは作られる必要がある（およびその計画に関連するコストとリスク）。

戦略的な提携

イニシアティブは1つ以上の戦略的優先事項と整合しているか？

そうでない場合、プロジェクトは他の理由で必要か（業務の継続、コンプライアンスなど）？

利益享受者を特定し、他のステークホルダーと一緒に確認したか？

金融

資本コストを考慮に入れたか？

（プロジェクトの）営業費用は考慮されているか？

継続的な経費が考慮されているか？

間接費が考慮されている（例えば他のプロダクトで失われた収益）？

年ごとの利益が特定されているか（利益は毎年一定であると仮定

しない)。

利益の期間は考慮されているか？

リソースの確保

十分な人材がいるか？

そうでない場合は、雇用/調達できるか？

正しいスキルはあるか？

そうでない場合は、雇用/調達できるか？

リスク

主要なリスクが特定されているか（戦略性に重点を置く）？詳細情報は下記

リスクの影響や発生する可能性について、高いレベルの計画見通しが立っているか？

可能な管理/緊急時計画が検討されているか？

スコープ

上位のスコープは明確に定義されているか？

クライアントステークホルダーのグループ/代理人はスコープをレビューし、承認したか？

差別化

主要な依存関係（他のプロジェクト、ベンダー、部門など）が特定されているか？

従属イニシアチブのための事業は相互参照されているか？

完全性

事業計画書はよく読まれているか？

問われ得る全ての質問に対処しているか？

ビジネスケースは客観的な提案か（営業トークではなく）？

モーフias リスク評価手順

プロジェクトリスクは、発生すると、スコープ、スケジュール、コスト、品質などの1つ以上のプロジェクト目標にプラスまたはマイナスの影響を及ぼす不確実な事象または条件である。リスクには1つまたは複数の原因があり、発生した場合には1つ以上の影響を及ぼす可能性がある。

すべてのリスクは、影響の大きさと発生確率に基づいて評価される。プロジェクト目標への脅威を軽減するためには、対応計画が必要である。

リスク分類:

- 外部リスク: 第三者であるベンダー、サービスプロバイダー、提携相手、外部市場、政治的、社会的、文化的、環境的要因によるリスク
 - 技術的なリスク: 不安定な技術によって生じるリスク
 - ステークホルダーリスク: 支援の欠如、管理の失敗、組織構造
 - 規制リスク: コンプライアンスの欠如、規制、政策
 - プロジェクト実施リスク: リソースの欠如、プロジェクトスコープの管理の甘さ、管理者のコミットメントの不在
 - 法的リスク: 遵守すべき法律、倫理への不適合
 - 販売リスク: プロダクト、サービスを販売する際の失敗によるリスク
 - 評判リスク: 顧客の否定的な体験、評価、市場での組織評価に起因するリスク

リスクの記述: 特定のリスク分類に関連づけられるリスク要素

影響の深刻度: 影響の深刻度を1から5で評価する。5が一番影響が大きく、1が一番影響が小さい:

- 影響はわずかもしくはほとんどない
- 僅かな影響
- ある程度の影響
- 大きな影響
- 最大の影響

リスクの可能性: 発生するリスクの可能性を特定する。可能性を5段階で評価する。5が一番高く 1が一番小さい:

- $\leq 10\%$
- $\geq 10\%$
- $> 25\%$
- $> 50\%$
- $> 75\%$

リスクスコア: インパクト x 事象の発生可能性

対応策: リスクスコアに基づくリスク対応計画。修正計画、予防計画、警告計画などの基礎計画

チーム

Noam Eppel, 創設者 兼 COO, モーフィアスネットワーク.
ウェブ開発における15年以上の経験

Danny Weinberger, 創設者 兼 CEO, モーフィアスネットワーク.
国際取引における15年以上の経験

Vignesh Iyer, ブロックチェーン開発者, モーフィアスネットワーク

Priyank Sharma, ブロックチェーン開発者, モーフィアスネットワーク

Zheng Xu, プロダクト開発 兼 アジア統括, モーフィアスネットワーク

Fei Liu, プロダクト開発 兼 アジア統括, モーフィアスネットワーク

Nikhil Sethi, マーケティングディレクター, モーフィアスネットワーク

Matthew Burgoyne, 弁護士, モーフィアスネットワーク

Ryan Franzen, 弁護士, モーフィアスネットワーク

Grant Gulovsen, 弁護士, モーフィアスネットワーク

Pavel Nedzvedz, マーケティング・デザイン, モーフィアスネットワーク

Crypto Cat, Meowディレクター

アドバイザー

Jonathan Lucas, ファンドレイジング, モーフィアスネットワーク

Brian Taylor, 資金分配 & 税務コンプライアンス, モーフィアスネットワーク

William Liu, 支払手続き, モーフィアスネットワーク

Donna Stoppard, プラットフォーム開発, モーフィアスネットワーク

Benny Pereira, 国際物流・コンプライアンス, モーフィアスネットワーク

Gaurav Sharma, 国際取引・金融, モーフィアスネットワーク

Giorgi “George” Danelia, 国際取引・金融, モーフィアスネットワーク

Anubhav Nagpal, 国際取引・金融, モーフィアスネットワーク

Max Rive, 国際関係, モーフィアス ネットワーク

Hagai Maidenberg, マーケティング・プロダクト 開発, モーフィアスネットワーク

FAQ

モーフィアスネットワークとは？

モーフィアスネットワークは世界最大級の船会社、税関と金融機関との協議に基づきデザインされた。その目的は、サービスを包括的にカバーし、グローバルで、自動化されたサプライチェーンプラットフォームを統合された、ブロックチェーンを活用した仮想通貨支払いシステムの元に構築することである。

- 船積書類と契約書の原本の自動化された生成と非中央集権化
- グローバルな規制とコンプライアンスに準拠した[テンプレート化された船積書類と契約](#)
- [スマートコントラクト](#)内に目的として含まれる、ブロックチェーン技術の統合もしくは“レイヤー化”
- 受取人の銀行口座へ直接預け入れるイニシエーティッドペイメントを伴うスマートコントラクト内の目的として自動化されたエスクロー支払い
- 多段階におけるセキュリティと多様な許可設定を持つ応用暗号化技術

それに加え、他の暗号技術に基づく支払い手続きがオンライン小売市場にフォーカスしている一方で、モーフィアスネットワークが焦点を当てるのは、輸出入産業と世界200カ国以上での現地通貨による国際決済である。セキュリティだけでなく、より高いレベルでの購入者保護が、大規模で有利な換金レートでの国際送金を取り扱う際には必要となる。また、私たちのユーザーの[格付けシステム](#)はモーフィアスネットワークユーザーに、評判がよく、経験を持ったビジネスパートナーと取引できることを保証す

ることが期待される。最後に、私たちのチームは モーフィアス ネットワークを可能な限りスムーズで安全に運用するという機能的観点から、適切で特定の分野の専門性を備えている。チームが持つ専門性には、輸出入、ウェブ、ブロックチェーンセキュリティ、バンキングプラットフォーム、支払い、税務会計とスマートコントラクト法令が含まれる。

なぜグローバルサプライチェーンは我々のブロックチェーンにとって理想的なアプリケーションなのか？

世界銀行はサプライチェーンの不十分さを#1世界経済を刺激するために解決すべき問題として定義している。グローバルな貿易で成功するためには、全ての企業が効率的に運営される必要がある。スマートコントラクト技術により、企業はサプライチェーンを自動化し効率を最大化することができる。トランザクションを適切に完了するためには、スマートコントラクト内の目的が正確に、国際通関コンプライアンスを踏まえて、適切なタイミングで引き金を引かれる必要がある。モーフィアスネットワークにより、グローバルにトランザクションを行う企業はスマートコントラクトの構造を彼らのサプライチェーンに利用することができるようになる。それに加え、実際の通貨換算レートと自動化された国際決済が、より一層、モーフィアスネットワークがどんなサプライチェーンであれ事実上自動化することを可能にするのだ。

誰がモーフィアスネットワークを利用できるのか？

モーフィアスネットワークは事実上誰にでも利用が可能である。簡単な操作によりプラットフォームに登録することができ、それに伴い、ウォレットが生成される。モーフィアスネットワークを利用した小規模な送金から、両替と輸出書類を伴う国際決済が絡む複雑なスマートコントラクトまで、あらゆる取引を買い手は行うことができる。商人、製造者そして輸出者はネットワークに登録することにより世界規模でより大きな注目を集めることができる。それに加え、従来の銀行送金を凌ぐ、モーフィアスネット

ワークを利用することによって得られる全ての利点（有利な両替レート、劇的なトランザクションフィーの減少、一層のネットワークセキュリティ、モーフィアストークンホルダーへの30%以上の利益の還元）の恩恵を受けることができる。

モーフィアスネットワークのチームには誰がいるのか？

私たちのチームはモーフィアス ネットワークを可能な限りスムーズかつ安全に運営するため、機能的観点から適切かつ特定の分野の専門知識を持っている。チームが持つ専門性は、輸入と輸出（船積みとコンプライアンス）、ウェブとブロックチェーンのセキュリティ、バンキングプラットフォーム、税務会計、スマートコントラクト法令などである。私たちのチームについては、[こちら](#)をご覧ください。

モーフィアスネットワークのセキュリティはどのようになっているのか？

モーフィアスネットワークは、パブリックブロックチェーンの「信頼性の低い」モデルとプライベートブロックチェーンの「信頼性の高い単一のエンティティ」モデルとのハイブリッドを提供するパーミッションドブロックチェーンを利用する。モーフィアスネットワークパーミッションドブロックチェーンは、単一の組織で電力を集約することなく、ユーザーのデータのプライバシーを維持する。信頼できるモーフィアスネットワークコンソーシアムは、ブロックチェーンへのアクセスを制御するために設置され、非中央集権化した方法でブロックチェーンを維持する役割を果たす。許可された参加者だけがブロックチェーン上の書類記録にアクセスでき、これはすべての参加者であるかもしれないし、データの特定の部分が必要な参加者になるかもしれない。ドキュメントの所有権とアクセス権は匿名であるが、検証を必要とするパートナー

との間では同定されている。つまり、広く共有しながら、同時に保護することが可能となる。書類はモーフiasネットワークスマートコントラクトが個人のデータを保護しながらブロックチェーンの機能を最大限に活用できるオフチェーンコンテナに格納される。これにより、プライバシーと透明性のバランスが適切に保たれる。ブロックチェーンの特徴の1つはデータの不変性だ。つまり、データがブロックチェーンに書き込まれると、システム管理者さえ、誰もそれを変更することはできない。これによりモーフiasネットワークユーザーは、すべての文書とトランザクションの安全な監査証跡を作成し、各地域の規制を遵守することができる。Noam Eppelは創業チームの一員で、情報セキュリティの専門家であり、5年間に渡るセキュリティ会社の経営においても成功を収めている。トロントの大学でウェブセキュリティを教え、北米の企業で使用されるオンラインセキュリティコースを作成した。彼はまた、IBMを含む大手技術企業を代表し、セキュリティコンサルティングサービスを提供してきた。さらに、プレセールやトークンセール中に調達した資金を確保するために、すべての資金をイーサリアムに交換し、マルチシグネチャウォレットに保管するのである。マルチシグネチャウォレットとは、資金のリリースまたは送金の際に複数の人間の承認が必要となる技術である。マルチシグネチャウォレットの（秘密）鍵は、モーフiasネットワークチームの創業者だけでなく、さらにデロイト社、トロント・ドミニオン銀行、および、Toronto General & Western Hospital Foundationなどの企業の諮問委員会のメンバーが保持することになるのである。

どのようにしてモーフiasネットワークはバンキングシステムより速く、安価で安全な支払いプロセスを提供できるのか？

モーフiasネットワークのスピードの鍵はブロックチェーン技術だ。そのネットワークは1ステップでPtoPのトランザクションを可能にする。あらゆるトランザクションを劇的に遅く、銀行手数料のためにトータルコストが上昇し、両替レートは最適とは言えない、中央集権化されたバンキングシステムとは対照的だ。モーフiasネットワークは、バンキングシステムのこれらの問題を解決し、ブロックチェーン技術のパワーを使用して実際のレートで資金を変換する。かかるのは、わずか1.5%のモーフiasネットワーク手数料のみだ。資金はモーフiasネットワークに保管することができ、また、[SWIFT](#)との統合により、200カ国以上の地域の通貨で受取人の銀行口座に直接入金することができる。

どのような "KYC" 情報がモーフiasネットワークトークンセールに参加するために提供される必要があるか？

ライブプラットフォームを使用するためのモーフiasネットワークトークンセールに参加するために必要な情報は少ない。北朝鮮、シリア、イラン、スーダン、バングラデシュ、ボリビア、キルギスタン、カナダ、米国、中国の居住者ではなければ誰でもが参加することができる。参加するためには居住国の認証の提供が必要だ。

なぜ "KYC" 情報はモーフiasネットワークを利用するために提供されなくてはいけないのか？

モーフiasネットワークは、国際銀行が使用するのと同じ標準プロトコルを使用している。私たちは、マネーロンダリング、テロ、その他違法な活動のための資金の移動に関して、国際送金のグローバルスタンダードに準拠するために必要なKYC情報について、TD Canada TrustのDonna Stoppardからアドバイスを受けている。このプラットフォームは、世界の貿易業界で使用される

ことが意図されており、その目的を完全かつ合法的に達成するためにあらゆる予防策を講じている。

"AI"はサプライチェーンの効率を最適化するためにどのように活用されるか？

人工知能 (AI) は、ブロックチェーンから大量のロジスティックデータを収集することによって、サプライチェーンで活用されている。これらの結果により、コンテナ輸送港が、事前に、また必要に応じて、グローバルな交通状況、船舶遅延、天候、その他の多くの要因および情報源に基づいて、計画作成、ルート設定をすることが可能になる。AIは、港到着時間をより正確に見積もることによって、モーフィアスネットワークによって生成された輸入のための法律に準拠した文書を準備するためにも使用されている。

もし私が輸出入業務を初めて行うとしたらどうなりますか？

モーフィアスネットワークは、あなたが初めて取引を行うときでも、簡単に輸入と輸出を行えるようにすることを目指している。私たちは、完全にテンプレート化された船積書類、通関書類を提供する。あなたのスマートコントラクトランザクションは、あなたの会社のテンプレート化されたドキュメントを作成するように調整される。これらのテンプレートは、同じレーンにおいて行われる将来の出荷全てに使用される。変わるのは出荷に関連する特定のコンテナ/船荷証券番号のみである。これらのすべての情報は、モーフィアスネットワークに永久に変更されることなく保存される。チュートリアルはあらゆる言語に設定できる。モーフィアスネットワークを使用する新しいサプライヤーを扱う時間の99.9%は、サプライチェーンのためのスマートコントラクトを手配するためのものである。私たちは、輸送および税関の文書を作成するだけでなく、あなたが権限を設定することによりモーフィアスネットワークを使用できる地元の税関仲介業者および配

送業者を提供するのに役立つだろう。スマートコントラクトの力を使うことによって、世界中のどこでも、どの通貨でも、あなたのトランザクションはスマートコントラクトの目的が完了した時点で自動的に実行される。複雑な輸出入が簡単になるのだ。

モーフィアスネットワークはどのようにして書類の原本を電子化するのですか？

ブロックチェーン技術の力を利用して、輸出者、受取輸入者、および権限設定においてアクセス権を与えられたあらゆる貨物運送業者と通関業者との間で、船積書類（船荷証券、コマーシャルインボイス、パッキングリスト、保険証券など）を電子化して安全かつ利便性高く共有する。ブロックチェーンのデータストレージ技術であるStorjのレイヤーは、スマートコントラクトの一部であるモーフィアスネットワークブロックチェーン上の対応する暗号化されたハッシュを通じて、特定の表記やマーキングが付いたオリジナルのドキュメントが格納され、アクセスされる場所である。これらのデジタル文書はすべて元の業務契約と支払いに紐づけられている。ドキュメントをブロックチェーンに追加すると、以後変更することはできない。これがオリジナルの書類をデジタル化することの鍵となり、輸出入産業に革命を起こす点である。このことは、貿易業界に革命を起こす。輸送サービス業者はもう世界中に書類を送る必要はない。書類の紛失や作成の遅れによる輸送の遅延がなくなる。これは、貿易業界において破壊的な効果を持つ技術だ。

モーフィアスネットワークの格付け / クレームシステムはどのように機能しますか？

取引が完了すると、輸出者（または売り手）と輸入者（または買い手）は、スマートコントラクトの詳細に基づいて自動的にフィードバックを残す。輸出者による製造期間やスマートコントラクトの目的達成の遅延は、あらゆるトランザクションについて

日付を含む詳細情報がブロックチェーンに記録される。この情報はブロックチェーンに永久に追加され、関係する個々の売り手または買い手、評価が関係する特定の取引に参照される。したがって、レーティングシステムは、完成したスマートコントラクトの統計による要因以外の影響を受けることはない。さらに、モーフiasネットワークそれ自体は販売市場ではないため、売り手と買い手がAlibaba、Amazon、eBay、Chinaexporter.comを使用して、またはオンライン市場なしで直接やりとりしても、評価システムは実際の支払いとスマートコントラクトの詳細全てに基づき、モーフiasネットワーククライアントに維持される。すべての格付けはプライバシー上の理由からブロックチェーン上で最高レベルのセキュリティで暗号化されるが、モーフiasネットワークの買い手と売り手には完全に利用可能である。このシステムには、特定の取引で発生する可能性のある紛争の申し立ても含まれている。所定の紛争で解決策に到達できない場合は、公正かつ公平な解決を行うために、独立した仲裁人が任命される。

既にネットワークを利用している買い手や売り手と送金のやりとりをする際にモーフiasネットワークを利用する必要がありますか？

トランザクションとスマートコントラクトのすべてのステップでモーフiasネットワークを使用することを推奨する。買い手の現地法定通貨から売り手への入金まで、世界中の1600を超える銀行において、私たちは最高レベルのセキュリティと実際の両替レートを提供している。つまり、トランザクションの各部分を分割することができる（例えば、ネットワークの観点から支払いの処理、文書のデジタル化、のみに利用）ことにより、モーフiasネットワークは、スマートコントラクト基準に基づいてイーサリアムベースのウォレットまたは銀行口座について直接支払いを受け取る、または送ることができる。さらに、他のブロックチェーンテクノロジー（Walton、Sia、Filecoin、Rippleなど）もスマートコントラクトにそれぞれの目的で実装することができ

る。これにより、モーフィアスネットワークを多用途に利用することが可能になる。

モーフィアストークンを保有する利点がありますか？

はい、あります！価値が上昇した場合、モーフィアストークンはあなたの会社の購買力を活用する。スマートコントラクトを介して支払われるすべての収益の33.3%（トータル1.5%のトランザクション手数料の0.5%）がモーフィアスネットワークトークン保有者に払い戻され、それによって受動的にトークンの価値が高まる。

商人やトークンホルダーはイーサリアムベースのトークンを既存の法定通貨に両替できますか？

はい、できます。SWIFTとの統合を通じて、モーフィアスネットワークは、銀行電信振り込みと似たように、法定通貨を銀行口座に入金することができる。しかし、銀行手数料を省くことで、両替による損失を避けることができる。商人は彼らのモーフィアスネットワークのウォレットから資金を、彼らの現地通貨に換金された状態で引き出すことができ、また、直接銀行口座に入金することができる。

どのようにしてモーフィアスネットワークはサプライチェーンを自動化しますか？

スマートコントラクト技術は、企業のサプライチェーン内のステップを自動化し、効率を最大化する事を可能にする。自動化された目的には、契約生成（および保管と"許可"された共有）、出荷と税関の文書生成（および保管と"許可"された共有）、実際のレートでの自動両替、国際決済だけでなく、他の技術（トラッキングシステム、ERPシステム、バーコードスキャン）における

レイヤー化を含み、それにより事実上すべてのサプライチェーンを自動化するのだ！

1.5%のトランザクションフィーはどのように配布されますか？

1.5%の取引手数料は自動化されたスマートコントラクトによって分配され、全額の33.33%をモーフィアスネットワークトークン保有者に払い戻し、支払または投資に使用されるトークンの値を受動的に増加させる。残りの1%はネットワークの成長を刺激し、プラットフォームの最高レベルの品質管理を維持するために透明性を保ちつつ、使われる。1.5%のトランザクションフィーは、モーフィアストークンに、スマートコントラクトトランザクションが完了した後にのみに課金される。

どこで活動していますか？

モーフィアスのエグゼクティブチームと開発者は、カナダと台湾を中心に台湾で活動しており、企業は台湾に登録されている。また、米国、フィリピン、インド、ベラルーシ、ロシアなど世界中にチームメンバーがいる。

トークンセール後の計画は？

モーフィアスネットワークの実装は、TD Canada Trustのプロジェクトマネージャーおよびパイロットでもある[Donna Stoppard](#)によって概説されている。Donnaは、本格活動開始に先立って、最も高度で厳密なプラットフォームテストを行ってモーフィアスチームにアドバイスしている。プラットフォームテストから最終的なリリースまでの詳細は次のとおりである。STAGE 1 - サンプルテスト - 輸出入企業のテンプレート-SIT = システムインテグレーションテスト - 通常は最初のタイプのテストで、"低"環境で完了する。これにより、ブロックチェーンコードとモーフィアスプラットフォームが統合され、エンドユーザーフレンドリーなインターフェイスが構築されることを保証する。このテ

スト段階では、プラットフォームは稼動していないが、構築された技術（コード、ロジックなど）が期待どおりに機能していることを簡易に検証する。BAT = ビジネス受け入れテスト - SITが完了時にはこの期間に特定されたSITの全ての欠陥を修復される。BATはビジネスのためのものである。SITは技術面（例：状況ごとのロジック）をテストし、BATはビジネス関連の仕様をテストする（たとえば、必須フィールドにアスタリスクがあるかどうか、必須フィールドが空白の場合は適切なエラーメッセージが表示されるか）。BATもまた、"低"環境で完了する。STAGE 2 - パフォーマンステスト - 実際のトランザクションをシミュレーションする。PCOE = パフォーマンステスト - 開発環境で完了。PCOEは、モーフiasネットワークのパフォーマンスをテストする。何が原因でシステムがクラッシュするのか？何がネットワークの速度を低下させ得るのか？PCOEのテスト段階では、このような各要素が考慮される。複雑なスマートコントラクトトランザクションがシミュレーションされ実行される。PAT = 生産受け入れテスト - これは開発環境で実行、完了されるテストの最終段階だが、このテスト段階ではネットワークはまだアクティブ化されていない。テストを完了させることで、下位レベルから開発環境にコードを昇格させる際に欠陥がないこと、そしてすべてのテストケースのパフォーマンスと期待値が期待通りであることを保証する。PATテストが完了すれば、モーフiasネットワークを利用できる！STAGE 3 - 限定したネットワークリリース - 現実のトランザクション。現在4カ国（米国、中国、カナダ、メキシコ）に我々のネットワークテストに協力してくれる輸出入企業がある。その次のステップは、EU、南米、ロシア、そして残りの地域への統合テストだ。ステージ4 - 完全なグローバルネットワークのアクティブ化 STAGE 5 - 継続的な成長と規模の管理

モーフiasトークンの機能は何ですか？

モーフィアストーン (MORPH) はモーフィアスネットワークに力を与える。トークンは"価値"をベースとするユーティリティだ。ネットワークのMicrosoft Dynamics 365 ERPシステムはSWIFTと統合されており、直接国際決済が可能である。モーフィアストーンは、プラットフォームやShapeshiftとの統合を通じて、事実上すべての通貨、または74種類以上の暗号化通貨から変換できる。トークンはユーザーにモーフィアスネットワークへのアクセス権を与える。グローバルサプライチェーンのスマートコントラクトにおける重要な目的は、国際支払いである。モーフィアストーンの価値は、スマートコントラクトの目的として支払いを完了するために必要な通貨のリアルタイムな金融デリバティブに基づいている。SWIFTとの統合により、スマートコントラクトで必要とされる特定の通貨 (法定または暗号通貨) で世界1600を超える銀行の口座に直接入金することができる。

国際貿易にモーフィアスネットワークを使用すると、貨物輸送の進行は追跡されますか？

モーフィアスはブロックチェーンによって容易に輸入、輸出、出荷場所をリアルタイムで追跡するように設計されている。どの目的が完了していても、モーフィアスネットワークはスマートコントラクトを使用し、世界中のあらゆる貨物の所在を追跡することができる。特定の輸送ポイントに到達するとWaltonchainバーコードスキャンのような特別な追跡機能が実行される。

モーフィアスネットワークのトークンセールハードキャップを説明してもらえますか？

ハードキャップに達すると、私たちはそれ以上のコントリビューションを受け入れなくなる。すべてのモーフィアスネットワークトークンが配布されているため、追加のトランザクションが送信者に返される。さらに、未販売のトークンはすべてburn / 処分さ

れる。つまり、トークンセール締結後に追加のモーフィアスネットワークトークンが生成または配布されることはない。

なぜモーフィアスネットワークトークンセールに貢献すべきなのですか？モーフィアスネットワークが輸出入業界にとって好ましいプラットフォームとなることをまだ確信していない場合は、よくFAQを読んだ方がいいかもしれない。また、あなたがまだ納得していない場合は、ホワイトペーパーを熟読いただきたい。概要として、15兆ドル以上の世界貿易産業向けの最も機能的なブロックチェーン決済プラットフォームを誇っているが、それはモーフィアスネットワークの一部に過ぎない。当社の自動化されたサプライチェーンサービスは、自動契約書類の作成、自動支払い、他のブロックチェーン技術のサプライチェーンのスマート契約への統合など、世界の貿易業界に革命をもたらす。私たちの強みは、プラットフォームにあるが、それ以上に大きいのはモーフィアスネットワークの有効性を最大限に引き出すための関連産業のリーダー達を擁するモーフィアスチームである。

プライバシーポリシー

モーフィアス・ネットワークのウェブサイト、システム、サービスを使用あるいはアクセスする者は、以下に記載するプライバシーポリシーを認識、同意したものとみなします。当プライバシーポリシーに同意されない場合、モーフィアス・ネットワークのウェブサイト、システム、及びシステムはご利用いただけません。また、定期的に変更点のご確認をお願いします。

クリーン・フォレスト・ソリューションズ社およびモーフィアス・ネットワーク（以降「当社」と記載）は、以下に記載するサービスを訪問または利用する際に受け取る個人情報の収集、利用、および開示に関する当社のポリシーと手続きを当プライバシーポリシーに記載いたします。

1. モーフィアス・ネットワークあるいはモーフィアス・ネットワークの提携で所有、運用しているウェブサイト（以降「サイト」と記載）

2. ユーザーのモバイル端末にダウンロードするソフトウェア（およびその後のアップデート）（以降「アプリ」と記載）
3. サイト、アプリ、その他モーフias・ネットワークが提供する製品を通じて利用できるサービスと機能（以降「提供機能」と記載）（サイトを通じて提供されるソフトウェアやアプリケーションを含む）

便宜上、このようなウェブサイト、製品、ソフトウェア、サービス（サイト、アプリ、提供機能を含む）を総じて「モーフias・ネットワーク・サービス」と記載します。当プライバシーポリシーはモーフias・ネットワーク・サービスを利用する際にユーザーが当社に提供した情報のみに適用されます。また、特定のモーフias・ネットワーク・サービスに対して異なるプライバシーポリシーが提示された場合、当プライバシーポリシーは該当のモーフias・ネットワーク・サービスで収集した情報には適用されません。

モーフias・ネットワーク・サービスを利用する者は当プライバシーポリシーに同意したものとみなします。当プライバシーポリシーに同意されない箇所がある場合、即座に全モーフias・ネットワーク・サービスへのアクセスを中止し、関連アカウントを削除してください。

モーフias・ネットワーク・プラットフォーム

当社が開発した分散型プラットフォーム（「モーフias・ネットワーク・プラットフォーム」または「プラットフォーム」）で、ブロックチェーン技術を利用して個人とその興味関心、利用（総じて「プラットフォーム・データ」）に関する情報を蓄積しています。プラットフォームのユーザーはプラットフォーム・データへのアクセスが許可されており、プラットフォームに用意されたメカニズムによって個人情報の開示や利用をコントロールすることができます。プラットフォーム・データは個々のデータ提供者によってこのプラットフォームに収集、蓄積されます。「サード・パーティー・サービス」とは、プラットフォーム・データの収集、蓄積、抽出、利用、あるいはプラットフォーム・データやモーフias・ネットワーク・サービスとの連携を目的として、データ提供者またはその他の第三者によって作成されたアプリケーションやサービスのことを指します。

サード・パーティーに対する責任の放棄

当社はプラットフォーム・データのサード・パーティー提供者およびサード・パーティー・サービスの作為的行為、無作為的行為の如何によらず一切の責任を負いません。（そして今後一切も責任を放棄いたします。）各データ提供者は各位が提供するプラットフォーム・データ、そしてそのデータの利用方法、許可、匿名化を含む一切の責任を負います。データ提供者との提携またはサード・パーティー・サービスの利用時に提供した情報は、当社を介すことな

く直接関連するサード・パーティー提供者に提供されます。当プライバシーポリシーが適用されるのはモーフias・ネットワーク・サービスに関連して当社が収集した個人情報のみであり、他のデータ提供者により提供され収集したことにより当社が取得したプラットフォーム・データにも適用されません。また、当社はいかなるサード・パーティー・サービスも承認、保証いたしません。さらにそのようなサード・パーティー・サービスおよびサード・パーティー・サービスによる個人情報やプラットフォーム・データの利用や開示に対する責任を負いません。サード・パーティー・サービスは当プライバシーポリシーの適用範囲外であるため、サード・パーティー・サービスと連携したりサード・パーティー・サービスによる個人情報の収集、アクセス、利用を許可する際には該当のサード・パーティー・サービスのプライバシーポリシーや利用規約をよくご確認ください。

プライバシーポリシーの変更

当プライバシーポリシーは変更点反映ため更新することがあります。変更を加える場合はメールやモーフias・ネットワーク・サービス、その他通信手段、またはサイト上の当プライバシーポリシーの最新版を公開することによりお知らせいたします。皆様には定期的に当プライバシーポリシーを確認し、最新情報をご確認されることをお勧めいたします。

当プライバシーポリシーに対するいかなる修正も新規規約公開および / あるいはモーフias・ネットワーク・サービス上の新規変更点の適用を以って有効になります。上記の全ての場合において、プライバシーポリシーの修正を通知、公開後もモーフias・ネットワーク・サービスの利用を続ける者はプライバシーポリシーの修正を受け入れたものとみなします。

個人を特定する情報の収集

モーフias・ネットワーク・サービスをご利用する際、利用者の特定や連絡に使用するための個人を特定する情報（「個人情報」）を提供、あるいは当社が収集する場合があります。個人情報には名前、写真、電話番号、クレジットカードなどの請求情報、メールアドレス、郵便番号を含みますがこれらの情報に限ったものではありません。モーフias・ネットワーク・サービスを利用するためには、モーフias・ネットワークのアカウント（「アカウント」）設定を求められることがあります。そしてこのアカウント設定処理をする上で特定の個人情報を訊かれることがあります。セキュリティ上の都合によりさらなる情報を求められる場合もありますが、利用者は個人情報の提供をいつでも拒否することができます。ただし、その場合モーフias・ネットワーク・サービスの提供を制限しなければならなくなる可能性があります。また、当社がモーフias・ネットワーク・サービスの他のユーザーや皆様が利用しているサード・パーティー・サービスの提供者から個人情報を取得することもございます。モー

ファイアス・ネットワーク・サービスに支払カード情報を提出した場合、提出された支払情報は直接支払機関（モーフィアス・ネットワークではない）に提出され、その場合は当プライバシーポリシーの適用外となりますので当社は該当情報および支払処理上のエラーやセキュリティ違反について、いかなる責任も負いません。

利用情報の収集

当社のシステムはユーザーがモーフィアス・ネットワーク・サービスをどのように利用しているかに関する情報（この情報を「利用情報」と記載します）を自動的に記録します。この利用情報はアカウント保有者、非保有者どちらの情報も含まれます。利用情報にはインターネットプロトコル（IP）アドレス、位置情報、ドメイン名、遷移先ウェブページ、端末 / ブラウザ情報、OS、端末設定、モーフィアス・ネットワーク・サービスのページや機能のユーザーの各ページ・機能の利用時間、モーフィアス・ネットワーク・サービスの利用頻度、検索ワード、モーフィアス・ネットワーク・サービス上でユーザーがクリックした機能やリンク、その他統計情報が含まれます。当社はこれらの情報をモーフィアス・ネットワーク・サービスの運営、提供のために利用し、サービス向上のために分析して（サード・パーティーと提携して分析する可能性もあります）、ユーザーのニーズや傾向に沿うよう努めます。利用情報にある情報、あるいは利用情報そのものでは個人を特定できませんが、アカウント保有者の個人情報とリンクさせる可能性があります。

サービスデータ

当社は提供サービスやアプリの記録を含む、モーフィアス・ネットワーク・サービスのセットアップ、総合性能、利用、操作に関する情報を収集、記録します。これらの情報は個人情報やその他モーフィアス・ネットワーク・サービスの利用情報と併せて蓄積することもございます。この情報を使ってユーザー（あるいは当社）はモーフィアス・ネットワーク・サービスを操作、監視することができます。当社はGoogle® Analyticsを含むサード・パーティーの分析提供者を利用する場合があります、その場合モーフィアス・ネットワーク・サービスの利用に関する収集、分析情報を連携いたします。

位置情報、端末データ

モーフィアス・ネットワーク・サービスの機能、特に提供サービスやアプリを利用する際、モバイル端末から提供される一般情報（例：IPアドレス、郵便番号）、診断情報、移動方向、詳細なGPS位置情報を含む位置情報を当社が受領、蓄積することがあります。

クッキー、ビーコン

当社は「クッキー」を用いて利用情報を収集することがあります。クッキーは容量の小さいテキストファイルで、モーフィアス・ネットワーク・サービスにアクセスする際にブラウザや端末によって保存されるものです。当社（およびGoogle® Analyticsのようなサード・パーティーの分析提供者）はセッションクッキーとパーシステントクッキーの両方をモーフィアス・ネットワーク・サービスへのログインの特定、およびモーフィアス・ネットワーク・サービスの連携手段や連携時期特定のために利用することがあります。また、クッキーを利用して総計利用、モーフィアス・ネットワーク・サービスのウェブトラフィックルーティングの監視、モーフィアス・ネットワーク・サービスの改修やカスタマイズに利用することもございます。パーシステントクッキーと違って、セッションクッキーはモーフィアス・ネットワーク・サービスからログアウトしたりブラウザと閉じたりすると削除され、ブラウザの設定を変更して自動的にクッキーの許可を停止することやクッキーを許可する前に警告を出すこともできます。ただし、クッキーを許可しない場合はモーフィアス・ネットワーク・サービスの一部機能にアクセスできなくなる可能性がありますのでご注意ください。また、当社および / またはサード・パーティー・プロバイダーがタグやウェブビーコン（別名ピクセルタグあるいはクリアGIF）と呼ばれるソフトウェア技術を採用することがありますが、これは効果的なコンテンツやその使われ方を知ることで当社がモーフィアス・ネットワーク・サービスのコンテンツや通信をより円滑に管理するためです。このビーコン（あるいはその他トラッキング技術）にはメールやその他当社（または提携者）が利用する伝達手段も含まれ、レスポンスや興味関心の追跡、関連コンテンツやサービスの提供に利用されます。アカウント保有者の場合、ウェブビーコンやその他のトラッキング技術を使って収集した情報と個人情報を当社が結びつけることもございます。

認可ユーザー情報

モーフィアス・ネットワーク・サービスの利用に際して、ユーザーは自らのために他の人（「認可ユーザー」）に対してモーフィアス・ネットワーク・サービスへのアクセスを許可することができます。自分が招待した認可ユーザーおよび彼らに与えた権限には注意を払ってく

ださい。認可ユーザーの利用を含む自分のアカウントの全利用責任はあなたにあります。さらに、個人情報、利用情報、モーフィアス・ネットワーク・サービス情報の一部が自分のアカウントへのアクセス権限を与えたユーザーに共有されます。そして当社は認可ユーザーの個人情報および利用情報を認可ユーザーのモーフィアス・ネットワーク・サービスへのアクセスと関連付けて収集します。これらの収集情報は当プライバシーポリシーに規定されている通り利用、開示されます。全認可ユーザーはこの利用と開示に明示的に同意したものとみなします。また、同意いただけない認可ユーザーはモーフィアス・ネットワーク・サービスの利用、および個人情報の提供を控えてください。ユーザーは個人情報や利用情報の収集、および当プライバシーポリシーに則ってそれらの情報を利用、共有することに関する通知（位置情報追跡に関する通知を含む）を認可ユーザーに対して十分行うことに同意したものとみなします。認可ユーザーの同意の獲得や通知の提供漏れに関し、当社は一切の責任を負いません。

個人情報の利用

当社は個人情報を以下の目的で利用いたします。

- I. モーフィアス・ネットワーク・サービスの購入や利用促進
- II. ユーザーが許可したコンテンツ、製品、サービスの提供
- III. モーフィアス・ネットワーク・サービスの利用に関する資金の移行
- IV. モーフィアス・ネットワーク・サービスの提供、運営、改修
- V. ユーザーのニーズ、興味関心のさらなる理解
- VI. ユーザー体験の個人化
- VII. モーフィアス・ネットワーク・サービスの告知提供およびモーフィアス・ネットワーク・サービスに関する連絡
- VIII. ユーザーへの詳細情報の提供および当社または提携企業からの提供
- IX. 報酬、調査、賞金、コンテスト、その他当社による宣伝活動やイベント支援、運用の管理
- X. コメント、質問、リクエストへの対応
- XI. 法的義務の遵守、ユーザー間トラブルの解決、当社協定の実施、および不正、有害、許可されていない、または違法な行為に対する防御、調査、阻止

当社が収集した個人情報と公的に利用可能な情報、ビジネスパートナーやその他データ提供者やサード・パーティー・サービス提供者を含むサード・パーティーから受領した情報を当社が組み合わせて利用することもできます。

サード・パーティーへの開示

当プライバシーポリシーにおいて、ユーザーおよび認可ユーザーは以下の状況における個人情報の共有に同意したものとみなします。

プラットフォームユーザー

当社はサード・パーティー・サービスあるいはユーザーが個人情報の受領、アクセス、利用を許可したプラットフォームのユーザーに対して個人情報の共有を行うことができます。共有対象には認可システムやプラットフォームあるいはモフィアス・ネットワーク・サービス内の設定によってユーザーの個人情報へのアクセスを許可されたサード・パーティー・サービスやプラットフォームのユーザーも含まれます。

当社の関連企業

当社は当社の親会社、兄弟会社、合併企業、その他現時点または今後共通管理下にある企業とユーザーの個人情報を共有することができます。その場合、当社が各企業に当プライバシーポリシーの履行を求めます。

当社のサービス提供者

当社はモフィアス・ネットワーク・サービスの運営、提供のため、またユーザーからのリクエスト（メンテナンス、管理、サポート、ホスティング、データベース管理サービス、請求やクレジットカード支払処理を含む）を満たすためにサード・パーティー企業や個人を雇用することができます。これらのサード・パーティーは自らの任務を果たすため、必要に応じてユーザーの個人情報にアクセスすることができ、その他の目的のために情報を開示、利用することはできません。

特例

法の遵守のため、当社は政府や法的機関、一個人に協力します。当社の判断に基づいて対応や法的処理（召喚状含む）に必要性や適切性を認めた場合、政府、法的機関、一個人に対してユーザーの情報を開示します。これは当社やサード・パーティーの資産や権利を守り、法的合意を履行し、世間や個人の安全を守り、違法、非倫理的、不正、不適切、法的に起訴するリスクを回避するためです。

企業間取引

当社や提携企業、またはその資産が売却、統合、あるいは企業間取引や破産となった場合、ユーザーの個人情報は該当取引の一部として移行されます。このような場合、当社はユーザーの同意なしにユーザーの情報を移行する権利を保持します。

特定事項

当社のサイトまたはモーフias・ネットワーク・サービスの特定箇所やページにおいて、個人情報の収集や開示に関する追加提供が通知されることがあります。このような提供と当プライバシーポリシーの間で齟齬が発生した場合、特定事項を優先します。上記以外では当社はユーザーが提供した個人情報を第三者へ同意なく共有したり売却したりすることはありません。

総計、非個人特定情報の利用

当社は個人情報および / または利用情報を匿名化、集合化、非属人化し、非個人特定情報を作成することができます。そして当社はこの非個人特定情報を産業分析、統計目的、人口動態プロファイリング、マーケティング、広告、その他ビジネス目的（アプリ、サイト、モーフias・ネットワーク・サービスの利用傾向報告を含む）で自由に開示、利用できます。

マーケティングメッセージ

メールアドレスやその他連絡先情報を当社に提出した場合、当社はその情報を当社や提携企業のサービスや製品、宣伝に関するお知らせを送るために使用することができます。これらのメッセージの管理のために当社は複数の提携企業やサービスプロバイダーを利用することができますが、ユーザーの許可なしにスパムやその他自己目的のサード・パーティーにメールアドレスを共有することはありません。ログイン後にアカウント設定を変更したり受け取ったメッセージにある方法を用いて、当社からのマーケティング関連のメールを受け取らないようにすることができます。

セキュリティ

当社の管理下にある個人情報の紛失、誤用、変更を防ぐため、当社は業界の慣行にならった適切なセキュリティ手段を採用いたします。しかし、インターネット上の伝達手法や電子ストレージの手段において、100%の安全はありません。そのため、当社は個人情報の絶対的な

安全性を保証できません。当社は全ての適用すべきプライバシー法に則り、セキュリティ違反、守秘義務、個人情報の整合性に関して法的に必要な開示を行います。

ソーシャルメディアウィジェット

当社のサイトおよびモーフィアス・ネットワーク・サービスはFacebookの「いいね」ボタンのようなソーシャルメディア機能や「共有する」ボタンのようなウィジェットを含みます。これらの機能では個人情報を収集し、モーフィアス・ネットワーク・サービスの利用を追跡することができます。また、これらの機能の利用は各機能を提供する企業のプライバシーポリシーに則ります。

未成年者

サイトおよびモーフィアス・ネットワーク・サービスは13歳以下の子供を対象外としており、当社が故意に13歳以下の子供の個人情報を収集することはありません。13歳以下の方はいかなる場合でもモーフィアス・ネットワーク・サービスの利用、アクセスは行わないでください。13歳以下の子供の個人情報を収集したことが判明した場合、速やかに該当情報を削除する措置を行います。

情報の変更や削除

ユーザーはログインして自分のアカウントに関する個人情報を確認、更新、修正、削除することができます。その他の個人情報を更新、削除したい場合は以下に挙げるお問い合わせから当社に連絡してください。当社は個人情報の修正、削除をできるだけ迅速に行いますが、情報によっては当社の記録目的または法的理由のため、コピーをアーカイブ / バックアップいたします。アカウント停止の際はモーフィアス・ネットワーク・サービスと併せて義務を果たす必要がある場合、そして排斥期間を含む適切な法に従う必要がある場合のみ全個人情報を保持します。

カリフォルニア州のプライバシー権

当社のサイトではサード・パーティーのウェブサイトにおける個人的なユーザーのオンラインアクティビティに関する個人を特定する情報を収集しません（そしてブラウザのDo Not Track

指標も監視しません)。当社が収集した個人情報を第三者のダイレクトマーケティング目的のために組織に提供しません。

国際的移行

ユーザーの情報はユーザーの州、県、国の外、またその他プライバシー法が自分の行政管轄より保護されていない行政管轄にあるコンピューターに移行、維持されることがあります。ユーザーがアメリカ合衆国外において当社に情報提供した場合、当社が個人情報をアメリカ合衆国に移行し合衆国内(もしくは他の国)で処理することをご承知おきください。ユーザーは本章に従ってユーザーの情報や個人情報を移行することに同意したものとみなします。

管轄問題

当社はモーフィアス・ネットワーク・サービスが全地域で稼働(あるいは法的に稼働が許可される)こと、そしてモーフィアス・ネットワーク・サービスがいかなる地域でも適切、利用可能であることに関して一切表明いたしません。モーフィアス・ネットワーク・サービス、あるいはモーフィアス・ネットワーク・サービスのコンテンツや機能またはその一部が違法となる地域からモーフィアス・ネットワーク・サービスにアクセスすることは明示的に禁止いたします。モーフィアス・ネットワーク・サービスにアクセスする場合、自発的かつ自己責任においてアクセスすることを認識、同意したものとみなし、適切な全ての法に遵守する全責任はユーザーにあります。

お問い合わせ先

当プライバシーポリシーに関して質問や懸念事項がある場合はこちらに記載した情報にご連絡ください。

ADMIN@MORPHEUS.NETWORK

ご利用規約

トークンセール詳細と同時に公開いたします。モーフィアス・ネットワークのリーガルチームにご相談ください。

出典